

第2次和光市公共施設マネジメント実行計画について

1 実行計画の策定にあたって

- 第2次実行計画期間内では、都市基盤整備事業等が既に進行しており、公共建築物への投資は不可能である。
- 公共施設の投資額は第1次期間は10.36億円だったが、第2次期間は年間平均3.2億円しか投資できない。
- 小中学校の老朽化は深刻であるため令和9年からの第3次実行計画期間には確実に実施する必要がある。



2 公共施設マネジメントの役割

- 公共施設の建替等をきっかけとして周辺環境の改善を図る。
- 公共施設のあり方を話し合うことで地域のコミュニケーション促進を図る。
- 公共サービスの担い手を拡大し、地域で活動する人や企業が活躍できる場をつくる。



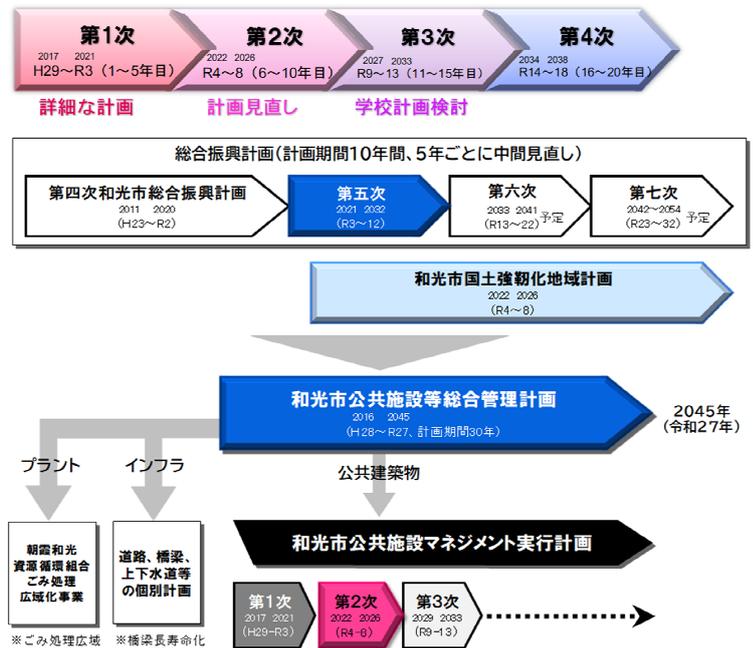
3 計画の基本となる考え方

● 計画の目的

- 将来にわたり「適切な公共サービスの提供」と「持続可能な財政運営」の両立を図る。
- 計画期間を5年単位として、具体的な取組を実施する。
- 本計画の対象施設は「公共建築物」である。

● 目的を達成するための3つの取組

- 長寿化
- 保有総量の抑制
- 財源の確保



4 第2次実行計画の考え方

- 学校プールの統廃合を行い、全校の水泳授業を屋内プールで実施するように検討する。
- 第三小中学校の官民一体複合化による建替を検討する。
- 第3次実行計画期間には、必ず行わなければならない学校の建替を、どのように行っていくかのプロセス整理を行う。

